

令和3年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告

I 【法人の運営状況】

1 理事会・評議員会

開催日 令和3年6月3日（理事会）

会 場 書面による提案に基づく同意にて議決

- 議 案
- ・令和2年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告について
 - ・令和2年度社会福祉法人雪国ボランティア会計決算について
 - ・役員任期満了に伴う候補の推薦について
 - ・評議員任期満了に伴う候補の推薦について
 - ・定時評議員会の招集日程等について

報告事項・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について

- ・社会福祉法人雪国ボランティア社会福祉充実計画の執行状況について
- ・その他

開催日 令和3年6月17日（定時評議員会）

会 場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

- 議 案
- ・令和2年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告について
 - ・令和2年度社会福祉法人雪国ボランティア会計決算について
 - ・役員任期満了に伴う新役員の選任について

報告事項・社会福祉法人雪国ボランティア社会福祉充実計画の進捗状況について

開催日 令和3年6月17日（理事会）

会 場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

- 議 案
- ・理事長の選定について
 - ・業務執行理事の選定について

開催日 令和3年11月26日（理事会）

会 場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

- 議 案
- ・令和3年度社会福祉法人雪国ボランティア第1次資金収支補正予算について

開催日 令和4年3月29日（理事会）

会 場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

- 議 案
- ・令和3年度社会福祉法人雪国ボランティア第2次補正予算（案）について
 - ・令和4年度社会福祉法人雪国ボランティア事業計画（案）について
 - ・令和4年度社会福祉法人雪国ボランティア会計予算（案）について
 - ・職員給与規程の改正（案）について
 - ・臨時職員賃金規程改正（案）について

- ・マイトラ虐待防止委員会規程の改正（案）について
- ・障害者支援施設マイトラ運営規程の改正（案）について
- ・指定障害者福祉サービス短期入所事業所マイトラ運営規程の改正（案）について

2 監査

開催日 令和3年5月26日

会場 障害者支援施設マイトラ 相談室

監査事項 ・令和2年度の理事の業務執行の状況および財産の状況について監査を実施しました。

3 幹事会

特別に協議戴く重要案件等が無かったため、「事業計画と予算並びに事業報告と決算」等での報告で幹事会に代えました。

Ⅱ【各部所の状況】

1 総務課 事務係

総括を兼ねて報告いたします。

令和3年度は、昨年度と同じく利用者さんの安全確保を目的に新型コロナウイルスへの感染を防止するための措置を優先に施設の運営を心掛けました。施設の三大事業である「春の宴」「文化祭」は、家族会役員との協議の上、中止とし、「納涼祭」は、入所者さんと職員だけで楽しめる会を企画し開催いたしました。

施設の運営状況としましては、利用者さんの重度高齢化が進む中、持病の悪化或いは新たな病気等にて病院受診や入院を繰り返す入所者さんが多く出て、看護係はその対応に力を注いだ一年間でありました。その影響が収支の実績にも表れております。また、新型コロナウイルスへの施設内感染を防止するため、利用者さん並びにご家族様には面会制限や外出制限を繰り返しお願いすることがあり、職員にも年間通して行動制限をお願いし、感染状況が厳しい県や地域等への移動制限をお願いする事も多くありました。

このような状況ではありましたが、各部所間の情報交換はスムーズに行われ、職員のチームワークも良かったことで、業務は順調に積み重ねられ大過ない運営の一年間であったと思っております。

利用者さんからの苦情の申立はありませんでしたが、利用者さん同士のトラブルや利用者さん個人に係る問題点等への対処が難しく、対応に苦慮することがありました。

居室稼働率は、入所希望者との調整が叶わず新規入所に繋がられない事で稼働率は向上できませんでした。

職員の動向につきましては、新規学卒者の採用はありませんでしたが、中途採用者が2名、再就職者が1名おりました。ただ、退職した職員もおりましたので、生活支援課の人員不足に変わりはなく、職員募集に努めた一年でありました。

その他、設備の入替や新規整備につきましては、施設・設備等の整備状況をご覧頂きたいと思います。

職員の構成（令和4年3月31日現在）

男性18名 女性32名 計50名（パート・嘱託含む）

支援員の男女構成（男性10名 女性25名）

年齢構成（平均年齢41.9歳）

2 生活支援課 支援係

（1）今年度の入退所の状況は、退所が南魚沼市1名、魚沼市2名、湯沢町1名、津南町1名の計5名でありました。内訳は1名が療養病棟へ入院、4名は死亡退所でありました。

新規入所は、南魚沼市2名、新発田市1名の計3名でありました。空床があるため、

遠方からの問い合わせも多くありましたが、精神障害、知的障害の方の問い合わせが多く、お断りするケースもありました。

- (2) 新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者さんの面会制限や外出制限を行いました。面会や外出の制限、手指消毒の徹底、日に2回の検温と換気作業等を実施することで、感染防止に努めた結果、感染者はありませんでした。
- (3) 毎月定期に開催しているスタッフ会議・事故対策会議を予定通り開催することができました。また、この会議で利用者の権利擁護、虐待防止、防犯等について研修報告や事例検討等行うことで、学び意見統一を図ることができました。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の拡大により、研修や会議の延期や中止が相次いだことで、職員の研修に大きな影響がありました。
- (5) 苦情解決の状況
今年度、利用者から苦情解決の申出はありませんでした。

3 生活支援課 支援計画係

- (1) 利用者の誕生月に合わせて、利用計画の見直しとモニタリングを実施しました。
- (2) ケア会議を毎月2回開催し、各部所との連携と支援の統一に努めました。
- (3) 支援計画作成のため、利用者から聞き取りを行いました。また他部所からも情報を収集し個別支援計画に反映できるよう努めました。
- (4) 短期入所、生活介護のみの利用者への面接およびその受入、他事業所との連絡調整を行いスムーズな利用に努めました。
- (5) 利用者の相談業務も行い、日々の生活の悩みや各種の申請手続き等の相談も受け、代理申請も行いました。
- (6) 生活支援係の短期入所受入や食事介助、送迎等、生活支援係の業務援助を行う機会が多くありました。

4 生活支援課 看護係

保健衛生計画に基づき、利用者並びに職員の健康管理を行いました。

(1) 健康管理全般

年2回の健康診断を実施。検査項目は胸部レントゲン、採血を年1回。検尿・体重測定を年2回実施しました。(職員は基本年1回・特定業務従事者は年2回実施)

健康診断の結果報告書は嘱託医に提出し、その指示のもと外来受診時に主治医の指示を仰ぎました。

- (2) 利用者の日々の健康状態の観察を行い、異常の早期発見及び対応に努めました。また、嘱託医の月2回の回診や健康診断の結果を外来受診に反映させました。
- (3) 定期的に病院通院を行い、薬の処方、胃瘻のチューブ交換、膀胱瘻のチューブ交換等を行いました。

(4) 急な体調不良時は、協力病院、医療機関に連絡を取り対応しました。

(5) 利用者の健康管理

① 毎月、第2・4金曜日嘱託医による回診

② 健康診断 (4月)

検診項目 身長・体重・血圧・採血・検尿・胸部レントゲン

健康診断 (10月)

検診項目 身長・体重・血圧・検尿

③ インフルエンザ予防接種 (全員)

④ 肺炎球菌予防接種 (対象者)

(6) 感染予防

職員は、ソーシャルディスタンスを図り、感染予防の研修に参加しました。新型コロナウイルスを含む全ての感染症に必要な標準予防策を再確認し、自身の健康管理を継続し実施してもらいました。また、変化する新型コロナウイルスの情報を受け、施設での感染予防策をその都度検討協議し、利用者並びに職員の協力を仰ぎながら実施しました。

新型コロナウイルスへの感染については、職員が濃厚接触者となり、出勤できないケースはありましたが、利用者さんに感染することは無く、施設内に濃厚接触者が発生することはありませんでした。

インフルエンザの予防接種は、利用者、職員共に全員接種しました。また、新型コロナウイルスワクチン接種は、希望した利用者並びに職員は、3回目の接種まで終わりました。インフルエンザ予防接種並びにコロナウイルスワクチン接種は、協力病院の細かな対応と協力にて、滞りなく終わることができました。お蔭をもちまして、インフルエンザ、コロナウイルス他感染症の発生はありませんでした。

(7) 外来受診者状況

令和3年度外来受診の年間合計は、616件でした。年間を通して毎日1.6人が受診したこととなります。利用者全員が定期受診し、薬の投与を受けています。泌尿器科や、整形外科、歯科などの専門外来を受診する利用者が多く、市内数か所の病院を受診する利用者が多い状況でした。また、緊急外来受診は11件ありました。肺炎や尿路感染で同じ利用者が繰り返し受診することが多くありましたが、異常時は、速やかに外来受診し治療に繋げることができました。

(8) 入退院の状況

令和3年度入退院の延べ人数は41人、延べ入院日数は690日(令和4年3月31日現在2人が入院中)でした。入院人数と入院日数は、昨年の3倍でありました。入院理由で多かったのは例年同様肺炎でした。同じ方が繰り返し発症することが多く、痰の吸引が必要な利用者也増えてきているため、介護や看護の負担が増加しています。

ほとんどの利用者は、自分から体調不良を的確に訴えることができないため、些細な

事から異常を発見しなければなりません。今後も、支援員の協力を得ながら、日常の体調管理や容態観察を行いながら異常の早期発見と対応に努めたいと思います。また、ご家族とは、常日頃、利用者の体調の変化を報告することで、連絡を密にして、より良い協力体制を築いてまいります。

5 生活支援課 機能訓練係

(1) 機能訓練

日中生活介護利用者に対して歩行訓練、筋力増強訓練、関節可動域運動等を実施しました。入所利用者に対して関節可動域運動、物理療法、歩行訓練、立位訓練、移乗訓練等を実施しました。

麻痺が重度にて、立つことしかできなかった利用者に下肢装具を作成することで歩行訓練が可能になり、身体機能の維持、向上につなげることが出来ました。

(2) 車椅子のメンテナンス

車椅子のタイヤ、ブレーキ、クッションなどの消耗品の修理・交換を業者に依頼しました。新規に入所された利用者の車椅子を発注しました。また、車椅子が身体に合わなくなり作り替える必要が生じた利用者に対しては、車椅子再交付の手続きを行いました。

(3) 福祉用具の選定

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、外来者の入所規制で義肢装具士が来所できない期間が長く、期間の後半に下肢装具をまとめて作成する形となりました。新しい装具を装着することで、身体が安定し歩行状態も改善し、居室やトイレにおいての動作が向上した利用者があり、安全安心な施設生活の提供に貢献できました。

(4) リハビリテーションマネジメント計画

年3回リハビリテーション実施計画書を作成し、カンファレンスを実施しました。新規利用者に対してもリハビリを行う場合、実施計画書を作成し、適切なリハビリの施行に努めました。障害があっても残存機能を生かし、できるだけ本人が能力を維持できるようリハビリを計画し、実施しました。

6 生活支援課 給食係

利用者ひとり一人の栄養及び熱量を十分に確保する目的を達成したことで、利用者の年間体重の変動もほとんどありませんでした。また、嗜好調査の結果を踏まえた献立作成を心掛け、更に「目で楽しめる食事作り」を心掛けたことで、喫食率も向上し利用者に喜ばれる食事提供ができました。

(1) 利用者ひとり一人の栄養及び熱量の十分な確保

嗜好調査、カンファレンス、体重測定などによる情報に加え、直接、食事介助を行うことで利用者の喫食状況や栄養状態を把握することができました。

(2) 栄養・マネジメント加算の算定

定期的に手順に沿った見直しを行い、利用者に最適な栄養ケアと食事提供を行いました。

(3) 療養食加算の算定

医師の指示に従い、利用者の栄養状態の経過を観察し、病態に応じた食事提供を行いました。

(4) 適時・適温の食事提供。喫食2時間前調理の徹底

喫食2時間前の調理を徹底し、居室配膳においては例年行っているように配膳車を利用して適温で食事を提供しました。

(5) 給食職員の衛生管理

手洗い、食品管理、厨房清掃を徹底し、また定期検便も行い食中毒の発生予防に努めたことで、食中毒の発生はみられませんでした。また、新型コロナウイルス感染防止対策として、厨房職員は作業時、休憩時間のマスク、ゴーグル着用の徹底、発熱等で感染の疑いのある職員が発生した際は、その都度施設に報告し対応について指示を受けました。今後の予防対策は、全て施設の対応に準じて実施することとなりました。

(6) 行事食（イベント食も含む）を次のとおり実施しました。

- 4月 味ごよみ献立、みんなの日曜日「たいめいけん献立」、お花見献立
- 5月 みんなの日曜日「吉野家献立」、子供の日献立
- 6月 入梅献立、味ごよみ献立
- 7月 七夕献立、土用の丑の日
- 8月 納涼祭、お盆献立
- 9月 敬老の日献立、自治会焼肉夕食会
- 10月 スポーツの日献立、セレクト献立
- 11月 秋の实り献立、味ごよみ献立
- 12月 冬至献立、クリスマス・イブ献立、クリスマス献立、クリスマス忘年会、大晦日献立、年越し献立
- 1月 お正月献立、七草雑炊、自治会海鮮丼祭り
- 2月 節分恵方巻献立、お刺身献立、みんなの日曜日「ココイチ献立」
- 3月 ひな祭り献立、お刺身献立、みんなの日曜日「たいめいけん献立」

(7) 調理器具、食器等の入替等

予備ミキサー、作業台2台、小鉢2種類の買い替えを行いました。皿については、以前使用していたものとは違うデザイン、違う形のものを購入し、華やかなお膳になるような選定を行いました。

(8) 厨房機器、設備の修理

テーブル冷蔵庫内の棚アルミ、冷蔵庫内のドアパッキンの交換、テーブル冷蔵庫、ミキサーの修理を行いました。食器洗浄機は、保守契約による年2回の定期点検により大

きな故障なく使用できました。

(9) 掲示物の作成

献立表を華やかなものにして、献立の内容についても簡単な説明を加えることで、食事に対する利用者の興味をもって頂けるよう努めました。更に、イベント食に際しては、ポスターを作成し、事前告知することで楽しんでイベント食を食べて頂けるよう努めました。

(10) 食中毒、非常時対応マニュアル研修

有事に備え、委託事業者と合同で各研修を実施し、マニュアル等の再確認を行いました。また、防災の月献立に合わせ、備蓄食品を使用しました。

(11) 福祉施設業務支援ソフトの活用

福祉施設業務支援ソフトを活用し、他部所との情報の共有、情報の整理と保管を効率的に行い、利用者へのサービス向上に努めました。

7 特定相談支援事業 相談支援センターマイトーラ

(1) サービス等利用計画作成とモニタリング継続計画、併せて26件ありました。

(2) サービス等利用計画作成のための面接や聴き取りを行い、利用者の福祉サービス利用の調整を行いました。ただし、新型コロナウイルス感染予防のため、利用者と面会を行えないケースが多くあり、事業所からの聴き取りを計画作成に反映させました。

(3) 職員体制として、相談支援専門員兼務2名、管理者兼務1名で活動しました。

(4) 南魚沼市が主催し毎月開催する「相談支援事業所連絡会議」に参加し、情報の収集、計画立案の技法等を習得しました。

(5) 「南魚沼市自立支援協議会」に参画し、南魚沼地域の福祉サービス向上に協力しました。

Ⅲ【委員会活動報告】

1 広報委員会

広報誌発行を目的に活気溢れる誌面となるよう、記事および情報の収集を行いました。

① 年2回の広報誌発行。

- ・発行日 令和3年 4月 第56号 6ページ白黒印刷
- 令和3年10月 第57号 6ページカラー印刷

配布先

- ・4市2郡の構成市町村並びに関連社会福祉施設
- ・役員、評議員
- ・入所利用者並びにその家族、生活介護並びに短期入所の利用者

- ・県、関係諸団体、県内外福祉施設、欠之上世帯、他

2 ボランティア委員会

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環で、ボランティアの受け入れは行ないませんでした。ただ、毎月地域のボランティア団体に郵送している「予定表」は、例年通りとし、施設の様子等をお知らせしました。

実施事業として

- ① 中庭の花壇を利用して、「花のガーデニング」を行い、利用者さんに楽しんでもいただき、正面玄関には「花のプランター」を設置し、訪れた方々に癒しを提供する活動を行いました。
- ② ボランティア団体に「折込チラシを利用したゴミ箱作り」をお願いし、たくさんの協力を頂きました。
- ③ ボランティア委員の呼び掛けによる「ハンドベルの演奏会」を行いました。

3 感染対策委員会

新型コロナウイルス、食中毒、風邪・インフルエンザ等、施設内における感染症予防対策を立案実行しました。

- ① 定期的な冷蔵庫の清掃及びコップの消毒
- ② 毎日の台ふきんの交換
- ③ ガーグルベースの消毒
- ④ 手洗い、うがいの励行

4 防災委員会

施設の防災に関する企画・立案を行い、防災避難訓練等を年間計画に基づき実施しました。

- ① 令和3年6月22日 総合消防避難訓練（夜間想定）（南魚沼市消防本部立会）避難訓練、消火訓練
令和3年10月13日 総合消防避難訓練（夜間想定）（南魚沼市消防本部立会）避難訓練、消火訓練
- ② 毎月、自主点検表に基づいた建物・設備の点検
- ③ 救命救急法講習（施設内研修委員会と合同開催）
- ④ 令和3年9月15日南魚沼市消防本部による立入検査がありましたが、特に指摘事項はありませんでした。

5 家族会委員会

利用者の家族及び保護者により構成される家族会の運営を補助し、援助することを目的に活動しました。

- ① 令和3年度、家族会総会、春の宴、清掃活動等は、新型コロナウイルス感染予防

を目的に、家族会会長と協議の上、ほとんどの行事が中止となりました。

- ② 事業計画・予算及び事業報告・決算書類の作成等

6 施設内研修委員会

職員の資質向上を目的に研修等を実施し活動しました。

- ① クリーン作戦（１０月１４日）
- ② 虐待防止研修（１２月２１日から３班に分けて実施）
- ③ 救急救命研修（３月２２日から７班に分けて実施）

7 行事委員会

集団生活がマンネリ化しないよう行事を実施、また施設外行事への参加（外出）機会を多く取り入れることにより利用者の気分転換をはかり、それが心のケアにも繋がりました。 別紙１・別紙２

8 施設外交流委員会

新潟県身体障害者施設協議会主催の交流会は、新型コロナウイルス感染予防のため主催者の意向で、全て中止としました。

実施日	行事名	参加人数	会場
中止	県身協主催オセロ交流会		
中止	県身協主催スポーツ交流会		

9 実習委員会

今年度、近郊の高等学校、中学校より施設見学並びに交流体験、職場体験等の依頼がなく、活動の報告に至りませんでした。

10 事故対策委員会

毎月開催している「スタッフ会議」終了後、事故報告書を基に事故内容の詳細を確認し検討協議の上、事故防止並びに事故の再発防止に努めました。

- ① 今年度は、ヒヤリ・ハットを含め、１３５件の報告がありました。この件数は、ヒヤリ・ハットの報告を些細な部分まで報告を求めたことによります。
- ② 新潟県に報告した事故はありませんでした。

IV【施設・設備等の整備状況】

1 設備・備品等の新規購入及び入替

[入替]

- ① 融雪ボイラー（３台） ② 火災通報装置 ③ ノートパソコン（３台）
- ④ 給湯用膨張タンク ⑤ 作業台 ⑥ 電動リモコンベット（１０台）
- ⑦ 軽自動車（車いす移動車）

[新規購入]

- ① 自動手洗器 ② テレビ ③ 自動検温器 ④ ミキサー

２ 廃棄資産

[建物付属設備]

- ① 屋根融雪ボイラー（３台）

[器具備品]

- ① 盛付台（大・小） ② ギャッジベット（１０台）

[車両運搬具]

- ① 軽自動車

[基本財産建物]

- ② 非常通報設備

Ⅴ【職員研修の成果】

- １ 介護福祉士国家試験合格者 ２名